平成24年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年７月31日

上場会社名　　日本和装ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　2499　　ＵＲＬ　http://www.wasou.com/profile/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）吉田重久
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役管理本部長　　（氏名）菅野泰弘　　ＴＥＬ　03-3216-0070

四半期報告書提出予定日　　平成24年８月10日　　配当支払開始予定日　平成24年９月18日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成24年12月期第２四半期の連結業績（平成24年１月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第２四半期	2,927	△11.8	75	△72.8	46	△82.3	16	△86.7
23年12月期第２四半期	3,318	1.6	276	△28.2	263	△29.8	127	△53.2

（注）包括利益　24年12月期第２四半期　16百万円（△86.9%）　23年12月期第２四半期　127百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第２四半期	187.90	－
23年12月期第２四半期	1,415.34	1,415.15

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第２四半期	5,407	2,947	54.5
23年12月期	5,322	3,020	56.7

（参考）自己資本　　24年12月期第２四半期　　2,946百万円　　23年12月期　　3,019百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	－	500.00	－	1,000.00	1,500.00
24年12月期	－	500.00			
24年12月期（予想）			－	1,000.00	1,500.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
　　24年12月期第２四半期末配当金の内訳　記念配当　500円00銭

３．平成24年12月期の連結業績予想（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	△5.2	350	△4.3	330	0.5	190	26.4	2,110.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 有
② ①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 無
④ 修正再表示	： 無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期２Ｑ	90,020株	23年12月期	90,020株
② 期末自己株式数	24年12月期２Ｑ	－株	23年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期２Ｑ	90,020株	23年12月期２Ｑ	90,020株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

（注）この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（７）重要な後発事象 …… 9
４．補足情報 …… 10
季節的変動について …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により穏やかな回復傾向がみられたものの、欧州債務危機を背景とした円高の長期化や、電力供給に対する不安などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが仲介を行う着物業界におきましても、消費の低迷は続いていると言われております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、１月に募集した春期「無料きもの着付教室」の受講希望者数が、全国で前年春期比17%減の約10,000名となりました。この受講者募集における広告宣伝活動は、当社グループが前年より打ち出している「きものシンデレラストーリー」のコンセプトのもと、イメージキャラクターに有名タレントを起用せず、当社グループの既存顧客のみが出演するテレビ広告を中心に展開した、前例のない企画でしたが、結果として認知を得られないものであったと分析します。

一方で、獲得した受講希望者に対しては、着付教室を通じて着物の消費者を育てる（教えて・伝えて・流通を促す）という、「日本和装」事業の原点回帰をめざす当事業年度の目標のもと、「無料きもの着付教室」における顧客満足度の向上を図ることで、４月から６月に開催する販売機会での購買意欲の増大を計画しました。そのための施策として、販売機会への準備期間である１月から３月は、教室の運営に経営資源を集中させ顧客対応の充実を図りました。この結果、１人当たりの購入単価が向上し、施策の成果は現れてきてはいるものの、当第２四半期連結累計期間における売上高の増大には至らず、売上高は2,927百万円（前年同四半期比11.8%減）となりました。

利益面においては、上記の広告宣伝活動により広告宣伝費を削減できたことや、イベント開催数減少とインセンティブの廃止により着付講師の支払報酬が減少、プレミアム倶楽部（既存顧客向けプロモーション企画）のポイント制度廃止による販売促進費の減少等により、販売管理費が縮小しました。また、連結子会社においては、日本和装クレジット株式会社のショッピングローン利用促進により、外部への支払手数料を縮小、株式会社はかた匠工芸では、自社製品を中心に販売したことから利益率が向上しました。

しかしながら、上記の売上高減少に伴う利益の減少と、中長期的なサービスと品質の向上のための戦略的な先行投資と考える、オールインワン施設（教室・販売会場・事務所を一体化した施設）に係る地代家賃の増加、コールセンターのアウトソーシング化による支払手数料の増加及び２月の東京証券取引所市場第二部への上場に係る諸経費等を計上し、さらに８月に開催するコンテスト「きものブリリアンツ全国大会」に付随する地区予選会を、前年より９会場多く開催したことによる会場費等の増加により、営業利益は75百万円（前年同四半期比72.8%減）となりました。

営業外損益では、運転資金の借入金利息を12百万円、社債発行費を10百万円計上したこと等により、経常利益は46百万円（前年同四半期比82.3%減）となりました。

法人税等は、法人税、住民税及び事業税を計上するとともに、法人税等調整額を計上した結果、29百万円（前年同四半期比70.2%減）を計上いたしました。

これらの結果、四半期純利益は16百万円（前年同四半期比86.7%減）となりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して84百万円増加して5,407百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加216百万円、営業未収入金の増加81百万円、割賦売掛金の減少204百万円、総額では88百万円増加し、4,194百万円となりました。

有形・無形固定資産及び投資その他の資産には、特記すべき変動はありません。

一方、流動負債につきましては、短期借入金が351百万円減少したこと等に伴い、322百万円減少し、1,786百万円となりました。

固定負債は、社債を500百万円発行したこと等により、673百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が73百万円減少いたしました。この結果、前連結会計年度末と比較して72百万円減少し、2,947百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年７月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

第１四半期連結会計期間から、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号 平成22 年６月30 日）及び「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号 平成22 年６月30 日）を適用しております。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業に提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第２四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額は1,415円04銭となります。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,104,088	1,320,798
営業未収入金	728,001	809,493
割賦売掛金	1,702,026	1,497,868
営業貸付金	11,668	8,246
たな卸資産	142,194	139,568
その他	431,886	426,917
貸倒引当金	△14,005	△8,618
流動資産合計	4,105,859	4,194,274
固定資産		
有形固定資産	662,443	669,590
無形固定資産	33,140	30,774
投資その他の資産	521,532	512,981
固定資産合計	1,217,116	1,213,346
資産合計	5,322,976	5,407,621
負債の部		
流動負債		
営業未払金	45,594	35,590
短期借入金	1,424,800	1,073,728
未払法人税等	51,074	29,440
前受金	278,724	336,725
営業預り金	35,233	25,923
その他	273,751	284,885
流動負債合計	2,109,178	1,786,294
固定負債		
社債	―	500,000
長期借入金	174,044	152,716
その他	19,542	20,756
固定負債合計	193,586	673,472
負債合計	2,302,765	2,459,766

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,634	459,634
資本剰余金	336,409	336,409
利益剰余金	2,226,384	2,153,278
株主資本合計	3,022,427	2,949,322
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,451	△2,639
その他の包括利益累計額合計	△2,451	△2,639
新株予約権	234	1,171
純資産合計	3,020,210	2,947,854
負債純資産合計	5,322,976	5,407,621

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	3,318,523	2,927,237
売上原価	551,824	445,819
売上総利益	2,766,699	2,481,418
販売費及び一般管理費	2,489,809	2,406,193
営業利益	276,890	75,224
営業外収益		
受取利息	575	483
その他	835	1,888
営業外収益合計	1,410	2,371
営業外費用		
支払利息	13,418	12,288
社債発行費	－	10,039
その他	1,426	8,752
営業外費用合計	14,845	31,081
経常利益	263,455	46,515
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	36,657	－
特別損失合計	36,657	－
税金等調整前四半期純利益	226,798	46,515
法人税、住民税及び事業税	113,631	24,454
法人税等調整額	△14,241	5,146
法人税等合計	99,389	29,600
少数株主損益調整前四半期純利益	127,409	16,914
四半期純利益	127,409	16,914

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	127,409	16,914
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△70	△188
その他の包括利益合計	△70	△188
四半期包括利益	127,338	16,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,338	16,726

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	226,798	46,515
減価償却費	40,758	46,778
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	36,657	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,646	△5,387
受取利息	△575	△483
支払利息	13,418	12,288
社債発行費	－	10,039
営業未収入金の増減額（△は増加）	42,199	△81,492
割賦売掛金の増減額（△は増加）	△760,946	204,158
営業貸付金の増減額（△は増加）	4,102	3,421
たな卸資産の増減額（△は増加）	△17,021	2,626
営業未払金の増減額（△は減少）	11,045	△10,004
前受金の増減額（△は減少）	37,482	58,001
営業預り金の増減額（△は減少）	2,230	△9,309
その他	2,033	17,649
小計	△360,170	294,801
利息の受取額	575	483
利息の支払額	△19,455	△10,973
法人税等の支払額	△82,212	△46,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	△461,262	237,666
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△200,003	99,997
有形固定資産の取得による支出	△61,419	△51,073
投資有価証券の取得による支出	△10,000	△31,221
敷金保証金の増加額	△49,058	△759
敷金保証金の減少額	12,527	42,840
その他	80	△6,992
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307,873	52,790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	325,000	△345,000
長期借入れによる収入	130,000	－
長期借入金の返済による支出	△23,324	△27,400
社債の発行による収入	－	489,960
配当金の支払額	△90,020	△90,020
その他	－	△1,101
財務活動によるキャッシュ・フロー	341,656	26,438
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70	△188
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△427,550	316,707
現金及び現金同等物の期首残高	2,012,425	875,794
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,584,875	1,192,501

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。

４．補足情報

季節的変動について

当社グループのきもの関連事業では、「無料きもの着付教室」（毎週１回、全15回のカリキュラムにて実施。）において、各契約企業が教室の受講者に販売する機会を提供し、仲介手数料等を受領しております。「無料きもの着付教室」は、主として春期講座（２月から順次開講）と秋期講座（９月から順次開講）から構成されており、それぞれ開講から各四半期末までの経過期間（販売機会の提供期間）に相違があります。

また、「無料きもの着付教室」の受講者の募集は教室開講前に実施するため、受講者募集経費の計上が収益の計上に先行します。

このため、売上高及び受講者募集経費が各四半期に均等に計上されず、偏重する時期が異なるため、各四半期の営業利益の間に相違があり、各四半期の業績に季節的変動があります。

参考情報（平成23年12月期連結会計年度における四半期情報）

平成24年３月23日提出の第26期有価証券報告書第一部企業情報　第５経理の状況　１．連結財務諸表等　(2)その他に記載した平成23年12月期連結会計年度における四半期情報は以下のとおりであります。

	第１四半期 自平成23年１月１日 至平成23年３月31日	第２四半期 自平成23年４月１日 至平成23年６月30日	第３四半期 自平成23年７月１日 至平成23年９月30日	第４四半期 自平成23年10月１日 至平成23年12月31日
売上高（千円）	1,362,298	1,956,225	1,454,345	1,765,305
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）（千円）	△465,300	692,099	△268,245	333,223
四半期純利益又は四半期純損失（△）（千円）	△282,292	409,702	△165,872	188,720
１株当たり四半期純利益金額又は１株当たり四半期純損失金額（△）（円）	△3,135.89	4,551.23	△1,842.61	2,096.43